2022年度NPO法人愛実の会事業計画　法人概況

1．実施事業の概略

特定非営利活動法人愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指している。

そのために下記のような事業を行い、実施する。

① 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業。

② 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業。

③ 障害者総合支援法の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業。

2．2022年度法人運営方針

以下の項目を今年度の活動方針として掲げ、日常の取り組みを行っていく。

① 新型コロナウイルス感染症及び防災の業務継続計画（BCP）の充実

② NPO法人設立15周年を節目として、将来のビジョンの明確化

③ コミュニケーションの円滑化及び個々の気づきを大切にした取り組みの実施

④ 愛実の会の活動を地域社会に紹介をしていく

3．事業の実施に関する事項

①特定非営利活動に係る事業

（1）生活介護事業について

契約メンバー数29名（2022年4月1日現在）

コロナ禍において活動の制限がある中でも、2つの部署（大地の家17名・紙風船12名）メンバーの一人ひとりの笑顔を大切に、安心できる関係と居場所を確保していく。

アシスタント・メンバーが共に寄り添い合う場として、気づきを大切にしながら、個々の特徴を生かし自由な発想と創造力を生かした活動を実践していく。

また、地域との関わりや社会参加を目指し、イベントを企画開催していく。

（2）居宅介護及び重度訪問介護事業について

メンバーの地域生活を継続的に支援し、更にシェアハウスへの支援体制を充実させて行くことで、家族の高齢化・メンバーの重度化への対応を行う。

（3）独自サービス事業について

緊急時の対応、その他必要なニーズに柔軟に対応できるよう努めていく。

法人独自のシェアハウスを7月以降の開始に向けて整備していく。

②アシスタント体制について

●アシスタント総数38名（2022年5月10日現在）

〇正職員　17名：生活介護管理者1名、サービス管理責任者2名、生活支援員10名
居宅介護管理者1名、サービス提供責任者1名、居宅ヘルパー1名、調理員・事務1名

〇嘱託職員　2名：医師1名、生活支援員1名

〇パート　3名：生活支援員3名

〇アルバイト 16名：生活支援員4名、看護師1名、送迎運転手4名、清掃員1名、調理員3名、
登録ヘルパー2名、リトミック講師1名

③ 研修について

●法人全体研修会　4月22日（金）　場所：障がい者デイセンター愛実

〇理念の共有　～愛実の会のめざすもの～　　〇シェアハウスについて

〇2021年度実績報告と課題　　〇2022年度運営方針

〇2022年度各部署の目標の共有　　〇普通救命講習（名古屋市消防局）

●正職員については専門研修への参加を計画的に実施し、キャリアアップに必要な資格取得を応援する

④ 福利厚生について

●健康診断、インフルエンザ予防接種助成、セルフケア助成、腰痛ベルト購入助成

●正職員アシスタントに対する福利厚生センター（ソウェルクラブ）への加入継続

⑤ 実習生・見学等の受け入れについて

●各部署の受け入れ態勢に応じて対応していく。見学者については出来る限り受け入れて行く

⑥ ボランティア等の受け入れについて

●新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、ホールイベントなど受け入れを行う

4. 会議の開催に関する事項

①総会

●通常総会　5月28日（土）　決算及び予算　法人・各部署の事業報告および事業計画
任期満了に伴う役員の改選

②理事会

●四半期開催を予定する

③定例会

●随時開催（昨年度は0回）これからのビジョンの話し合い及び学びの場として行う

④その他の会議

●運営会議(毎月第1・3火曜)、シフト会議(必要に応じて実施)、各部門別＆ケース会議、防災会議(随時)

●全体ミーティング（毎月第3木曜）

5. 寄付等について

●寄付金の目標額220万

（内訳：アシスタント体制の充実、紙風船人形劇の製作、土地建物建設資金）

※認定NPO基準PST＝年3,000円以上の新たな寄付者を増やしていく

6. 法人正会員の状況

●2022年4月1日現在45名

（内訳：メンバー家族22名・アシスタント17名・協力者4名・理事2名）

7. 会計の状況

今年度よりシェアハウスが始まることで、予算の収支に大きな影響が予想される。当初予算はシェアハウスの軌道により見直しが必要と思われるが、5年構想で収支の安定を図りたい。

2022年度 生活介護：大地の家　事業計画

計画概要

事業期間	2022.4.1-2023.3.31
当事業年度 テーマ	メンバーの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す。 そのために、ただ横に寄り添うだけではなく、メンバーの視線に立ち、メンバーにとって何が必要であるかを模索していく。 アシスタントの思いが優先されるデイケアではなく、メンバーにとってのデイケアを念頭に、メンバーとの関わりを大切にしていきたい。 また、外に出にくい今の時代だからこそ、「季節感」を改めて重点的に捉えたいと思う。 季節の行事や日常の活動に季節を感じられるような取り組みを計画し、外に出られない分室内でも季節を感じられるよう意識したい。 距離をあけることで人と人との直接的な関りが希薄になりやすいが、距離を取りつつもお互いの存在を認識し、それぞれの関わりを大切にしていきたい。

年間外出計画

具体的内容	具体的内容
花見（神宮東公園）	白鳥庭園
ガーデンふ頭	ワイルドフラワーガーデン
熱田神宮	宮の渡し
千年プロムナード	

今年度も飲食を伴わないことを前提に外出活動を計画している。
昨年度に引き続き、人が多く集まるところを避け、他の人との距離が取れることを考慮しながら出かけていきたい。
散歩外出が中心となるが、近所に散歩に出かけるのとは場所も雰囲気も違うことをメンバーに実感してもらいたいと思う。
決して大々的な外出活動ではないが、それでも皆で外に出ることの解放感、充実感を感じられるのではないかと期待している。

月次活動計画

目安	具体的内容
月数回	音楽活動（ミュージックケア、アシスタント企画）
月2回	リトミック（外部から講師を招いて音楽活動に取り組んでいく）
月1回木曜	茂吉さんのプログラム（講師による口唇刺激等の実施）
月1回	その月に誕生日を迎える人のお祝いをする（旬の食材を用いて）
月1～2回	季節の食材を使ったお菓子作り
月2回	壁画作り（各月ごとにテーマを決め、季節やイベントなどの壁画作成）
3か月おき	天井飾り作り（季節ごとのテーマに沿い、複数回に分けて制作）

季節毎の
活動計画

月次	具体的内容
4	花見・イースター
5	端午の節句・母の日
6	父の日
7	七夕・暑中見舞い
8	流しそうめん
9	十五夜

季節毎の活動計画	10	ハロウィン
	12	クリスマス会・車いすの掃除
	1	鏡開き・書初め・初釜・成人祝い
	2	節分・バレンタインデー
	3	ひな祭り・ホワイトデー

日常の活動計画

2年にわたり続いたコロナ禍は、2022年度も引き続き続くものと思われる。
この2年間、感染対策をしつつも「何ができるか」「何が楽しめるか」を模索し続けてきた。
アシスタントの中にも、感染対策についてはある程度のノウハウが根付いたものと思われる。
2022年度はこれまでの感染対策を継続しつつ、人と人との関わりを大切にしながら活動を行いたい。
距離をあけたり、分散して食事をとることで、お互いの関りが希薄になりやすいと感じている。同じ時間と空間を共にする者同士、お互いの存在をしっかりと認識しながら、関わることができるように意識したい。
メンバーとアシスタントのそれぞれがお互いを大切に思い尊重することで、自分たちの間にあるつながりを大切にしていきたい。

今年度はシェアハウスの本格稼働も視野に入れている。
大地の家の男性メンバー、アシスタントの動きが変わる年となることが予想される。
男性アシスタントだけではなく、女性のアシスタントについてもケース担当の分担変更や送迎の際の添乗などの増加等、動きが変わっていくものと思われる。
男女関係なく、アシスタント全体としてシェアハウスの活動も支えていきたいと思う。

また、アシスタント間の情報共有も大切にしていきたいと考えている。
昨年度から終業前にその日起きたことへの振り返りを実施している。
メンバーの変化、介助等について感じたこと、アシスタントそれぞれが気づいたことなどを共有している。
情報共有をすることで、日々の業務の中で行き違いや思いこみなどを減らすことができると考えている。
情報を共有する中で、一人ひとりがより活発に発言できるようになると期待している。
発言が活発化し気づきの共有をしていくことで、グループとしての課題の発掘や考え方の方向性の共有をしたい。
さらに、2022年度は分かち合いも重点的に捉えている。
この2年近くの間、分かち合いを行っていなかった。
自己開示を通じて、自らの意見や感情がはっきりしたり、気持ちがリセットされることを期待している。
また、分かち合いには人と人とのつながりを取り戻す効果があるとも言われている。
分かち合いを頻繁に行うことは難しいが、それぞれの思いを共有したいと思う。

情報共有、発言の活発化、分かち合いなどを通じて、より良いチームケアの実践を目指したい。

その他

		月	火	水	木	金	土	計
人員配置	メンバー	9-11名	10-11名	8-10名	9-10名	8-9名	7-10名	51-61名
	アシスタント	9名	10-11名	8-9名	9名	9名	8-9名	53-56名

アシスタントに関して	●2022.5より、女性パート職員入職（2-3日/週勤務）
メンバーに関して	●2022.4より持病治療のため、男性メンバー1名入院、欠席中 ●新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、男性メンバー1名長期欠席中 （入居先施設方針により、復帰のめど立たず）

2022年度　生活介護：紙風船　事業計画

計画概要

事業期間	2022.4.1～2023.3.31	
当事業年度 テーマ	～2022みんなのいいねを広げよう～	
	①楽しく元気に出かけよう　②ふれあいつながり大切に　③心からの笑顔を広げよう	
	紙風船として今年度の目標は、人形劇の動画配信ができるよう撮影の研究をし動画配信をする。メンバー、アシスタントが安心して通える場所。4月より新しいメンバーさんも入り、人形劇だけではなく一人一人が輝ける紙風船をみんなで創っていきます。	
人形劇 活動計画		内容
	人形劇講座	人形技術家おばらしげる先生による演出、演技指導等　月1回実施
	人形劇練習	新しい劇を製作中。(完成日は7月予定。8月お披露目予定)
	発声練習	
	YouTube活動	オリジナル人形劇や紙風船の様子などを動画にしてアップしています
人形劇公演予定	予定月日	内容
	公演依頼は受けています。5月現在、問い合わせもありますが、新型コロナウィルス感染拡大により保留中。決定しているものはありません。ZOOM、Teams各アプリを使いリモートでも人形劇公演をを受けていく予定。また、8月には新作人形劇のお披露目を予定しています。	
新たな 活動計画		内容
	映画鑑賞会	アシスタントプログラムとして最新の映画から旧作まで鑑賞する。
	eスポーツ	いろいろな分野のゲームに触れてもらう。その中でゲームを模索していく。
	ボッチャ	メンバーに合った投球方法を考え、試合や技の練習をする。

レクリエーション	決行月	行先
	5月現在、新型コロナウイルス感染拡大の収束の見通しは立っておらず、愛実の会としても外出がいつできるようになるかわからない状況です。事態が収束に向かい、愛実の会でも外出が再開できる見通しがついたのちに外部でのレクリエーションも検討していきます。	

活動計画	宣伝活動	Twitter、YouTube、facebook、HPを最大限に活用し情報発信の充実。 パンフレット、チラシ、名刺制作。また、リモート見学も受付中。
	グッズ活動	SNSアプリを使い販売。実用的な新作検討、制作をする。 公演先のグッズ販売だけでなく、売れる場所を広げる。
	夢づくり活動	日中活動の充実。表現練習、発声練習、川柳を行っていく。 また、公演プログラム、前座を考え広げていく。
	体力づくり	日頃の活動の充実。人形劇を元気に演じる為、健康維持を目的。 ボッチャ、体操。室内バスケやホッケーを実施。
	身体のケア	日頃の活動の充実。健康維持を目的。五感を刺激するものや 介護予防体操、体幹ストレッチ、マッサージ、足湯など実施。
	サークル活動	各曜日サークルに分かれ、それぞれ取り組みたい事を行っています。 ※メンバーさん希望者のみ。サークル以外のメンバーさんは通常活動。 (サークルメンバーさんは給料対象外)
	仲間の会	月に1回実施。公演予定確認、各活動報告。時にはメンバー アシスタントを交えテーマを決めての話し合いも行います。 (メンバーさんお給料日)
	夢づくり基金	目的を明確にして随時呼びかけをしていく。法人会報にも掲載。 人形、小道具の修理。新作の制作費として使用していきます。
	イエローレシート	2022年度はイエローレシートの参加団体に復帰。呼びかけについては 新型コロナウィルス感染拡大により、店頭の呼びかけはなし。
	お誕生日会	メンバーさん、アシスタントの誕生日月に開催。愛実の会法人から プレゼント(メンバーさんのみ。毎年変わります)、花束(アシスタントも)
	活動報告会	新型コロナウィルス感染拡大の終息の見通しが立ち次第開催予定。
	その他	新型コロナウィルスが緩和され次第、学生ボランティアさん、外部の ボランティアさんの受け入れを広げ、人形劇活動や日中活動の充実 及び活性化を目指します。また、リモートを活用し各団体とのコラボレー ション活動も行っていきます。

人員配置	月	火	水	木	金	土	計
メンバー	3～4	5～6	7	6～7	6～7	7～8	34～39
アシスタント	2～3	5～6	5～6	5～6	5～6	6～7	28～34

給料	メンバー給料:1日150円　継続
	いまだにコロナウィルスの終息のめどが立ちませんが、給料は150円を継続していきます。 SNSを使いグッズなど今できる収入の確保を考え行っていきます。

2022年度　居宅介護事業所あみ事業計画

● 目標

・当法人の生活介護事業所（障がい者デイセンター愛実）に通所しているメンバーへのサポートを中心に居宅介護サービスの内容を充実させていく。
・サービスの質の向上のための研修及び職員の相談体制を密にしていく。
・業務効率を目指し、けあピアノートの導入を試みる。
・シェアハウスが始まるのあたり、課題を明確にして連携を密に取り組む。
・シェアハウス5年構想を念頭に、今後の地域生活支援体制への準備を進める。
・医療的ケア体制の充実を図り、安心安全なケアの提供に努める。
・新型コロナウイルス感染のリスクを十分考慮しながら必要な予防策を講じる。

● サービス提供内容

24時間365日のケア・入浴介助、通院や余暇支援のための外出支援等
① 居宅介護事業：身体介護・家事援助・通院等介助
② 重度訪問介護事業：重度訪問介護・加算移動（外出支援）
③ 地域生活支援事業：移動支援　（外出支援＝ｶﾞｲﾄﾞﾍﾙﾌﾟ）

● 人的体制

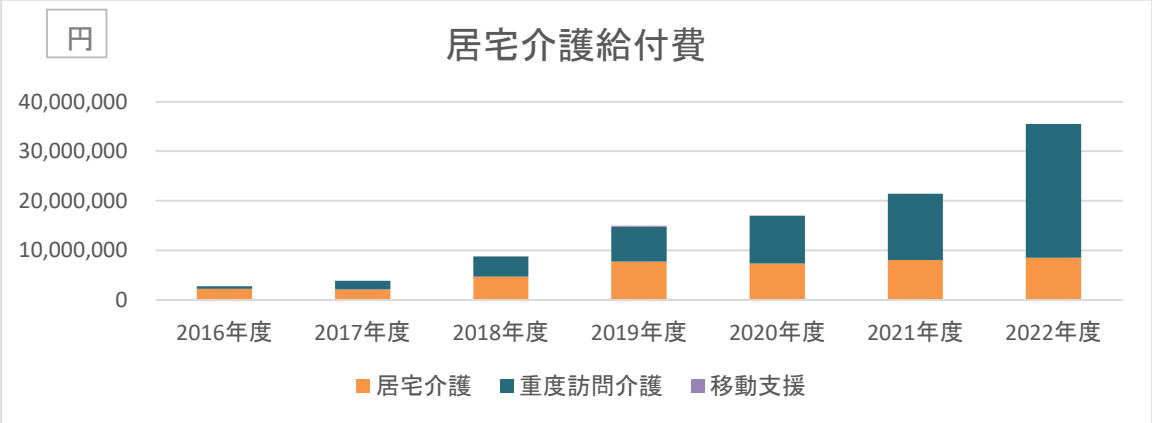
今年度よりシェアハウスが始まることにより、サービス提供の拡充が見込まれる。支援体制を整え今まで以上に生活介護との連携を強化していく。サービス提供責任者の増員を予定。

● 相談体制

・月1回の居宅会議を定例開催し、職員全員参加とする。また、運営会にて情報の共有を図る。
・サービス提供について報告・伝達・相談及び連携を密にしていく。
・相談支援事業所からの基本計画に基づき、その都度利用者・家族の意向に寄り添いながら、介護計画を作成または見直しを行い、サービスの提供を行っていく。

● 介護給付費の変遷（2016年度-2022年度予算）

	居宅介護	重度訪問介護	移動支援	合計	前年度比　円
2016年度	2,205,015	558,385	0	2,763,400	0
2017年度	2,107,789	1,732,404	0	3,840,193	1,076,793
2018年度	4,668,670	4,081,380	69,000	8,819,050	4,978,857
2019年度	7,689,898	7,065,636	198,000	14,953,534	6,134,484
2020年度	7,310,617	9,652,723	87,500	17,050,840	2,097,306
2021年度	8,037,897	13,378,854	0	21,416,751	4,365,911
2022年度	8,500,000	27,000,000	0	35,500,000	14,083,249



2022年度 管理部門事業計画

●給食管理(小久保)

事業方針	事業内容
○ 保健指導、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理に基づく調理を行う	○ 衛生管理を「見える化」し、毎日の衛生管理をしっかりと行う
○ 汁物の塩分・食事の温度管理・栄養等「健康な食事」を提供する	○ 調理員の検便、食中毒発生防止、感染の予防
	○ 季節・行事等を考慮した献立の作成
	○ 塩分計を活用した食事の提供

●車両管理(竹内)

事業方針	事業内容
○ 安全に車両が運行できるよう、故障等を起こす前に整備・点検を行う	○ ドライバーによる洗車、車内清掃を随時実施
	○ 各車両年に2回オイル交換の実施
	○ 車検や点検をトランコムMTS(株)依頼、修理も同様
	○ トランコムMTS(株)にて、12か月点検と同時にリフトの清掃・点検も実施
	○ 2022.7新車両の導入(洲崎福祉財団の助成による)
	○ 車両助成等について随時応募していく

●防火防災管理(佐藤)

事業方針	事業内容
○ 防災訓練の実施	○ 災害発生時に真栄マンション自治会と協力し合える体制作りを行う
○ 火災予防上の自主点検実施	○ 日常から心がけるとのできる事柄を取り入れた訓練をメンバーを交えて行いたい
	○ 地震、津波、火災など複合的な防災訓練の実施を検討したい
	○ 非常食・保存食の確認、更新

●会報担当(小久保)

事業方針	事業内容
○ 愛実の会の活動を地域社会に紹介	○ 年3回の会報発刊(7月・11月・3月)校正を決め、各担当への原稿依頼
○ 職員が参加する書面作り	○ 全体の編集・校正の確認、入稿、発送準備等
	○ 会報を通して「愛実の会」への理解を深めてもらい、寄付者を募っていく
	○ 愛実の会(各部署)の現状を、わかりやすく発信していく

●HP担当(戸田)

事業方針	事業内容
○ 愛実の会の見える化及び紹介	○ 愛実の会の魅力を発信していく
	○ 各部署の活動の紹介に力を入れる
	○ 会報の掲載及び最新情報の更新を行う